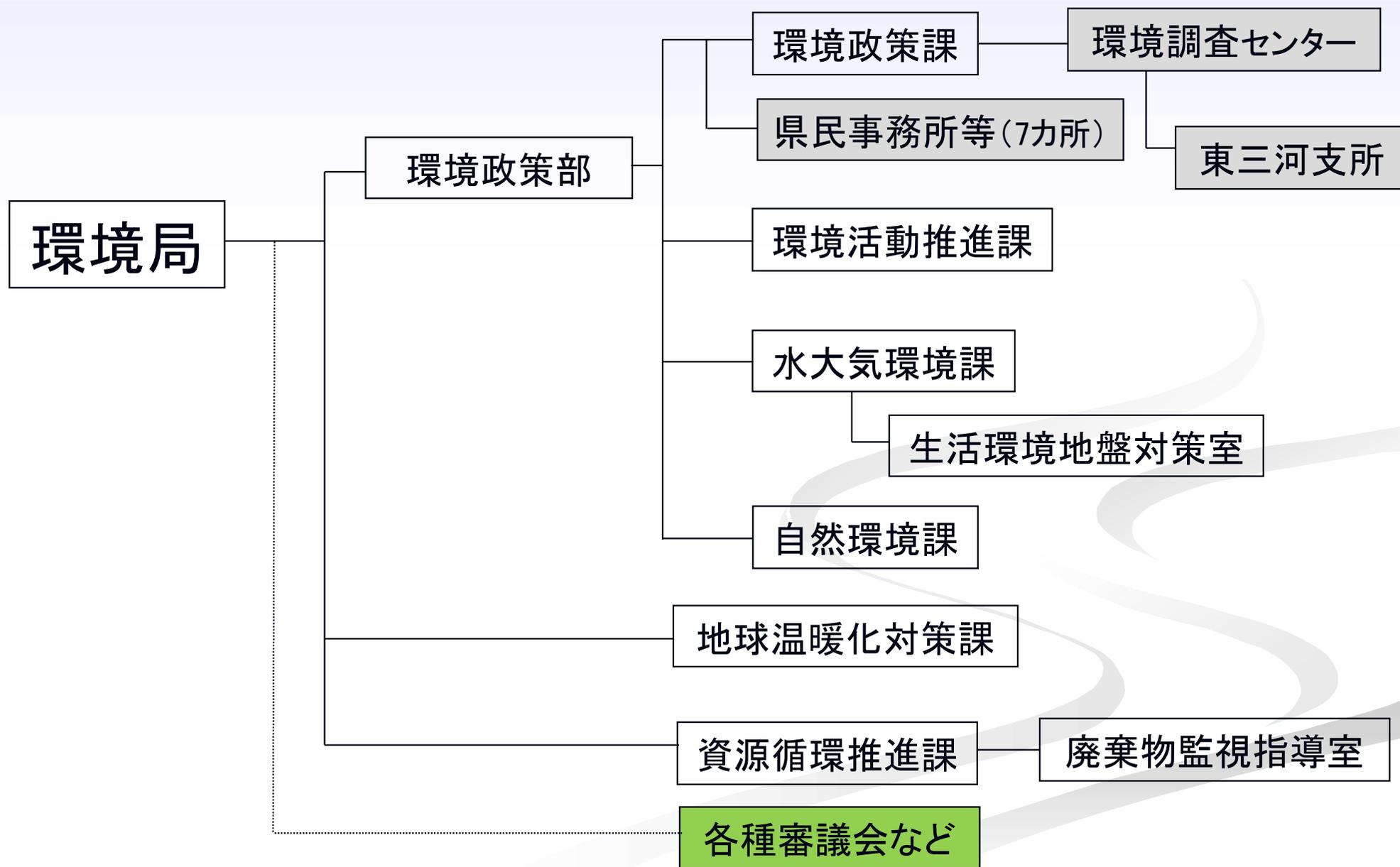


第5次愛知県環境基本計画と 関連施策

**SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会
が統合的に向上する「環境首都あいち」**

愛知県 環境局 環境政策部 環境政策課

環境局の組織



1 愛知の50年の環境のあゆみ

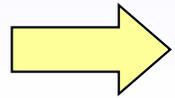
2 第5次愛知県環境基本計画

3 環境局の主な取組

環境問題の変遷

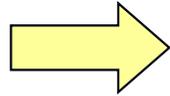
衛生問題

ごみやし尿の不衛生な処理→ハエや蚊の大量発生、伝染病



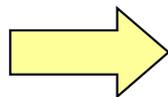
産業公害

急速な工業化に伴う過度の環境負荷
→大気汚染、水質汚濁等



都市生活型公害

都市化の進展、ライフスタイルの変化
→廃棄物の増大、生活排水、近隣騒音等



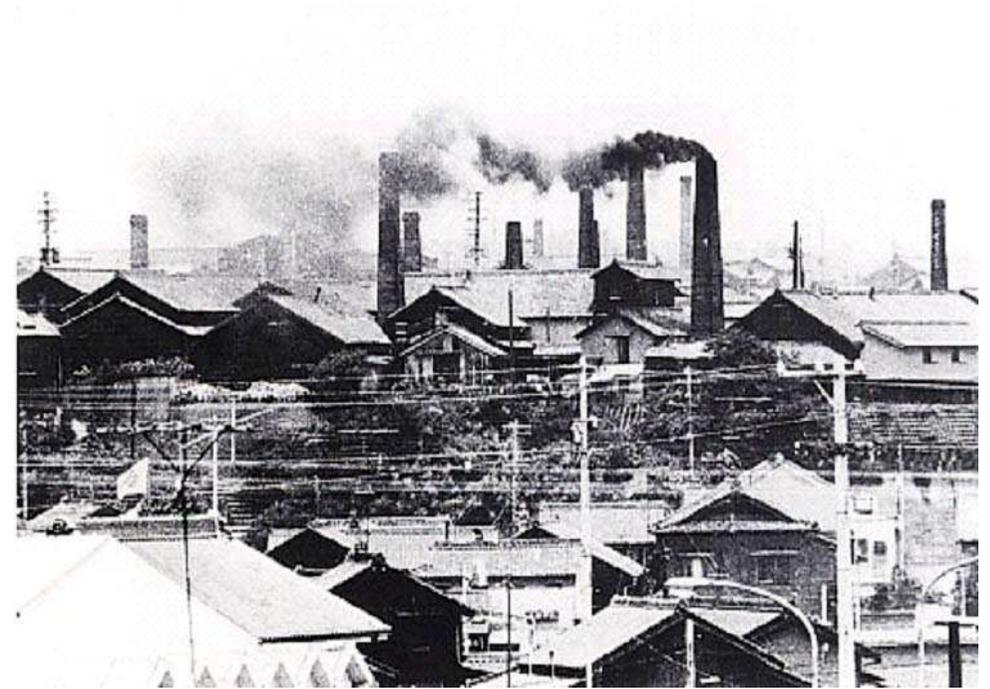
地球環境問題

地球温暖化、オゾン層の破壊等

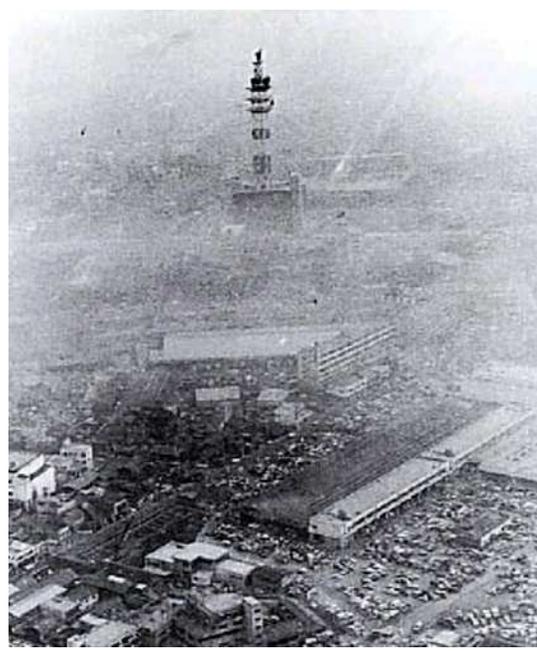
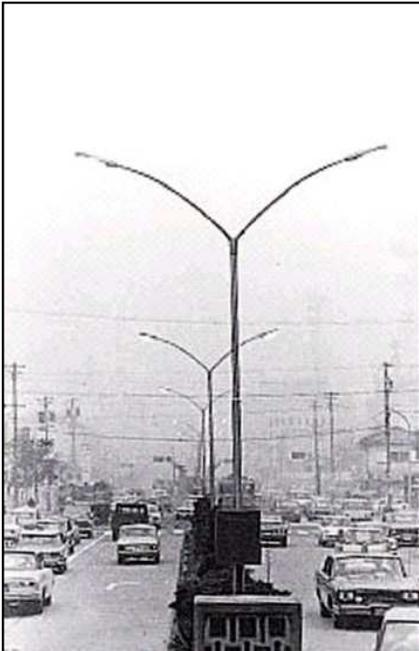
大気汚染の状況（1970年頃）



ばい煙を排出する工場群(1969年)



常滑市の黒煙を排出する工場群（1971年）



スモッグにおおわれた名古屋市街地
(左:1968年、右:1970年)

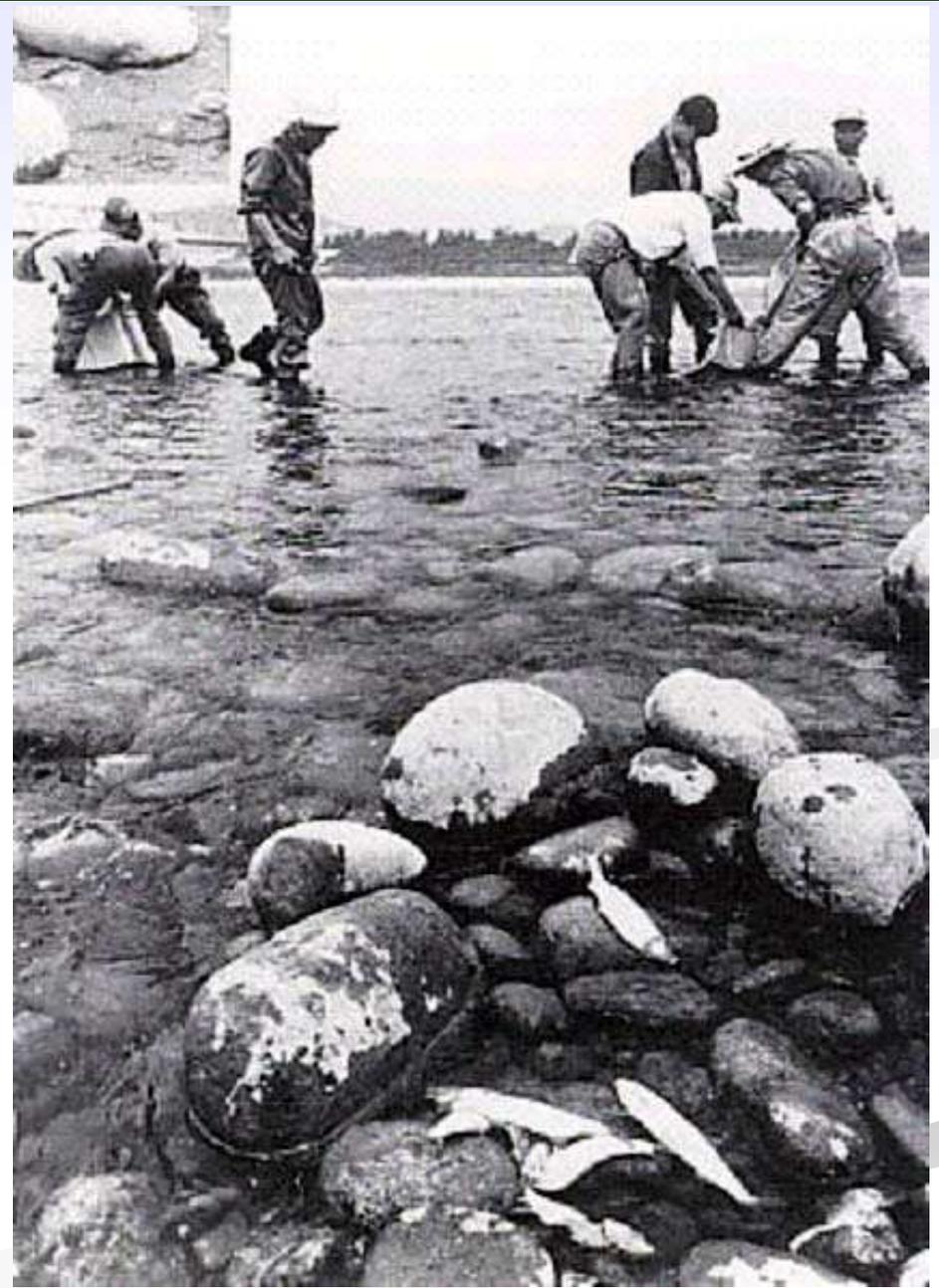


名古屋中川区(1970年)

水質汚濁の状況（1970年頃）



木曾川に流入する工場排水
(1968年9月)



魚のへい死
(1969年6月)

水質汚濁の状況（近年でも毎年発生）



赤潮の発生

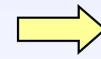
プランクトンが異常に増殖し、海水の色が赤色や褐色に変色する現象。

苦潮(青潮)の発生
海底付近の貧酸素水塊が、強い風などにより表層に湧き上がり、海面が青色に変色したり白濁する現象。

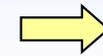


環境問題の解決に向けた政策 ①

衛生問題



産業公害



都市生活型公害



地球環境問題

- 産業公害 …「公害」
政策 ① 規制的手法
② 被害者救済

国：許可・事前届出、立入検査制度

県：法の執行

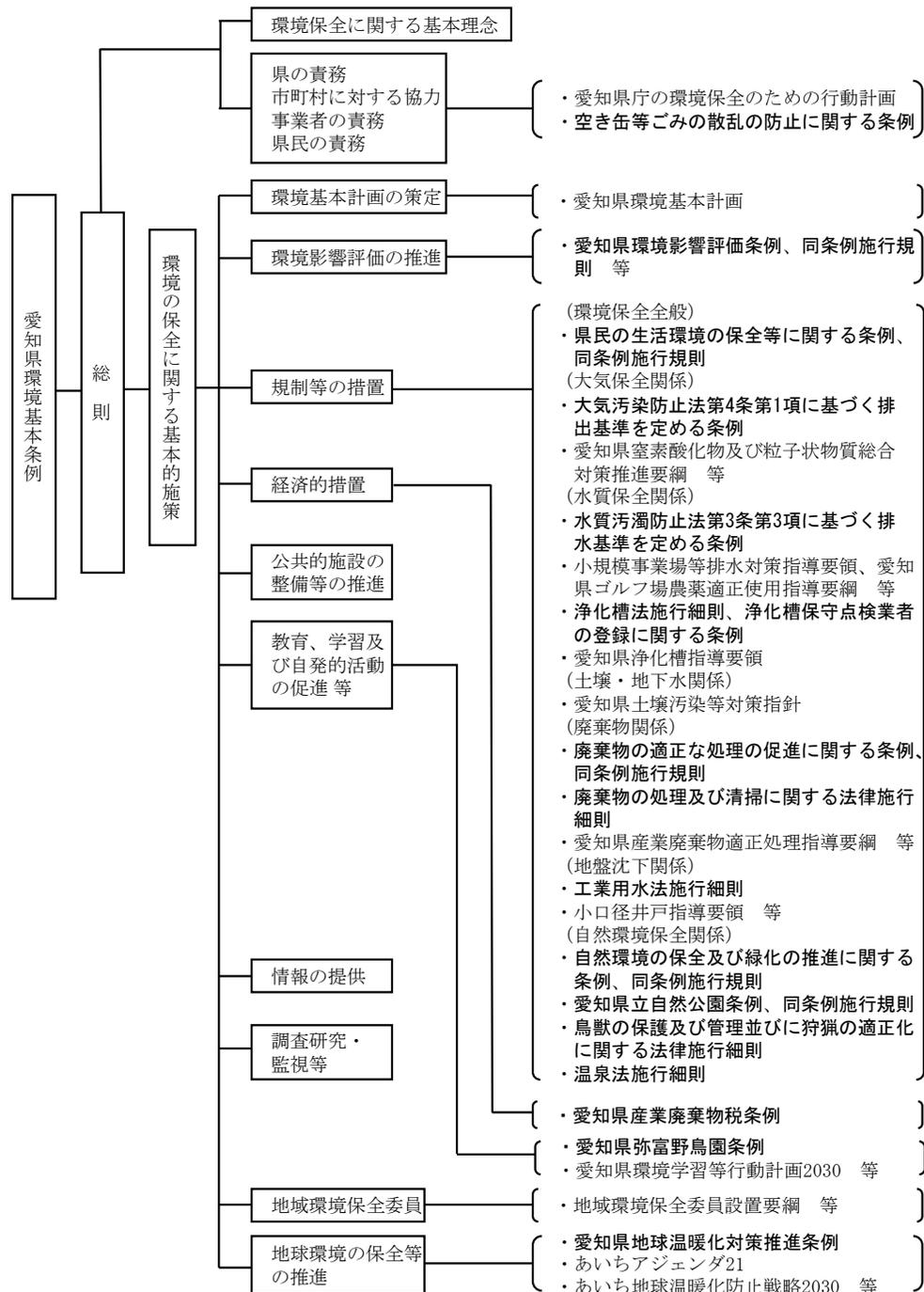
条例による上乗せ・横出し規制

環境法の体系



2022年10月末現在

愛知県における環境保全関係 条例等の体系



公害健康被害者への補償

■ 公害健康被害補償法

認定された健康被害者の方へ療養の給付等を行う制度

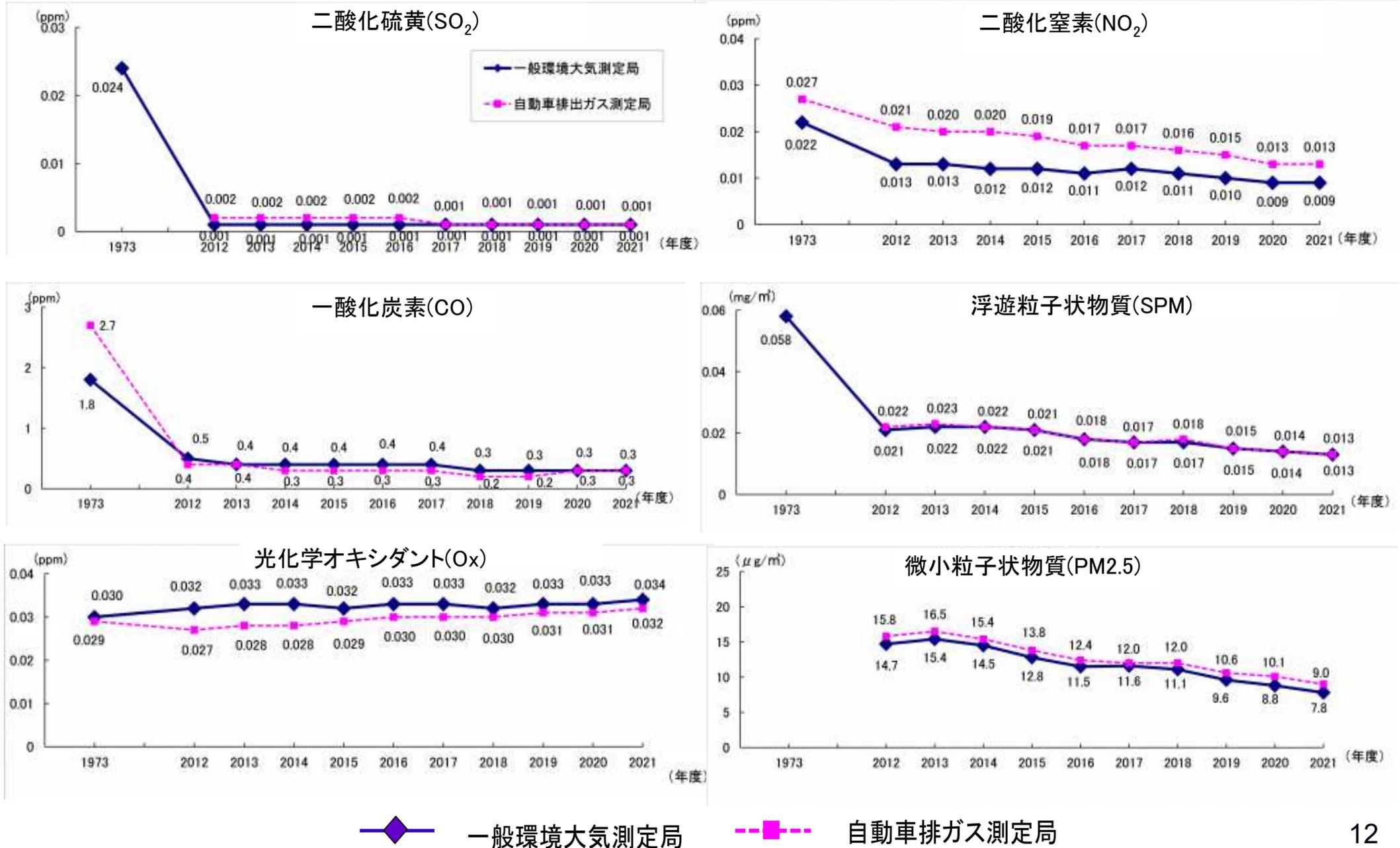
- ・ 第二種地域：水俣病、イタイイタイ病など疾病と原因物質との関係が明らかで、原因者が特定できるもの（全国で5地域）
- ・ 第一種地域※：著しい大気汚染による疾病が多発した地域（全国で41地域）

愛知県内では、名古屋市、東海市が第一種地域として指定されていた。

※大気環境の改善により第一種地域はすべて1988年に指定解除（以降は、新たな患者認定を行っていない）。

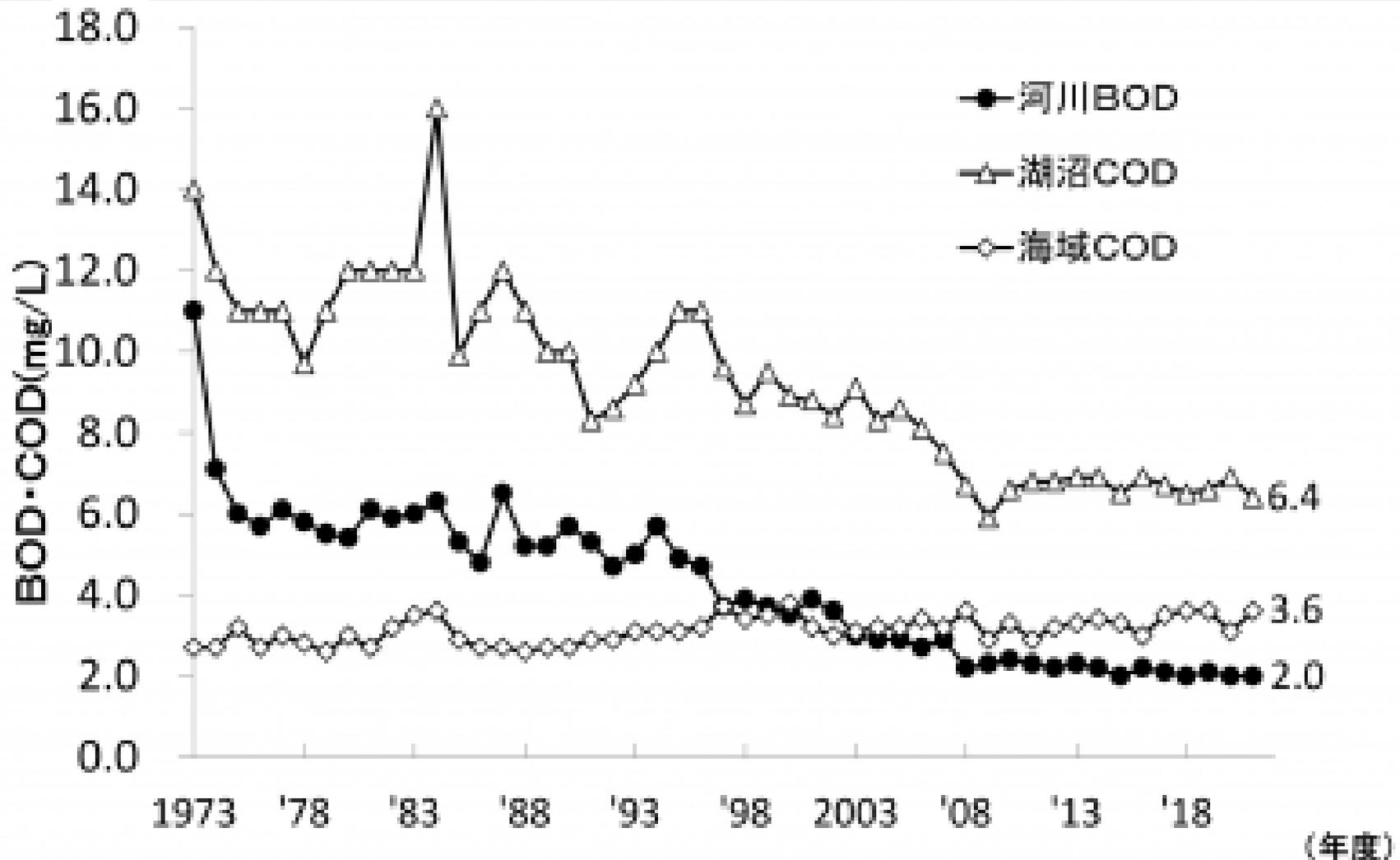
愛知県の大気汚染の状況（年平均値）

大気汚染物質濃度の経年変化（県全域の年平均値）



愛知県の水質の状況（年平均値）

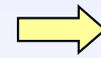
河川、湖沼、海域におけるBOD又はCODの推移（年間平均値）



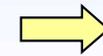
- ・河川のBODは改善傾向
- ・湖沼のCODは改善傾向であるが、数値的にはまだ高いレベル
- ・海域のCODは、概ね横ばい

BOD、CODはともに有機物量を表し、汚れの指標となるもの

衛生問題



産業公害



都市生活型公害



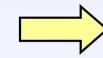
地球環境問題

■ 都市生活型公害 …「分散型公害」

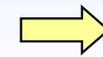
特徴 日常生活の活動も原因
被害者が原因者になることも
規制的手法だけでは対処が困難

- ① 日常の環境保全意識の促進
- ② 社会経済システムやライフスタイルの見直し

衛生問題



産業公害



都市生活型公害



地球環境問題

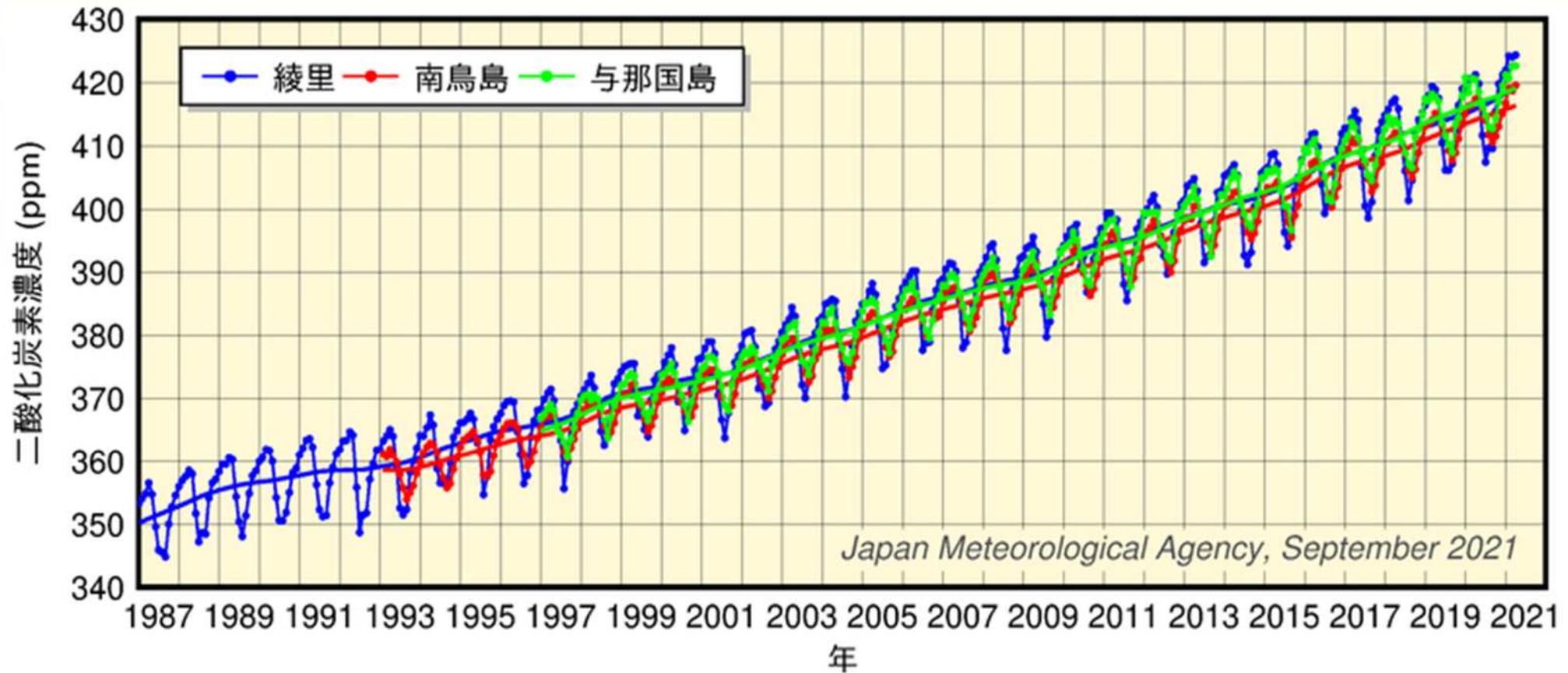
■ 地球環境問題 …「環境負荷」

総合的・長期的な計画

+ α の政策

- ① 経済的手法
- ② 情報的手法
- ③ 自主的取組促進手法

大気中のCO₂濃度（温室効果ガスの増加）



気象庁ウェブサイトより

海岸漂着物



海岸に打ち上げられたごみ 2018年10月2日 佐久島(西尾市)

1 愛知の50年の環境のあゆみ

2 第5次愛知県環境基本計画

3 環境局の主な取組

愛知県環境基本計画

■位置づけ：環境の保全に関する長期的な目標及び施策の方向を示すもので、本県の環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定。

愛知県環境基本計画（1997年8月策定）

「あいち環境社会」の実現
(循環を基調とした社会、多様性が尊重され共生が進む社会、
文化的で感性豊かな社会、自立と協働が進む社会)

第2次愛知県環境基本計画（2002年9月策定）

「循環」、「共生」、「安心」、「協働」を通して「あいち環境社会」を実現

第3次愛知県環境基本計画（2008年3月策定）

「脱温暖化」、「資源循環」、「自然共生」、「安全・安心」、「参加・協働」を通して
「自然の叡智に学ぶ持続可能な循環型社会づくり」を実現

第4次愛知県環境基本計画（2014年5月策定）

県民みんなで未来へつなぐ「環境首都あいち」

【社会経済情勢の変化】

【地球環境の危機的状況】

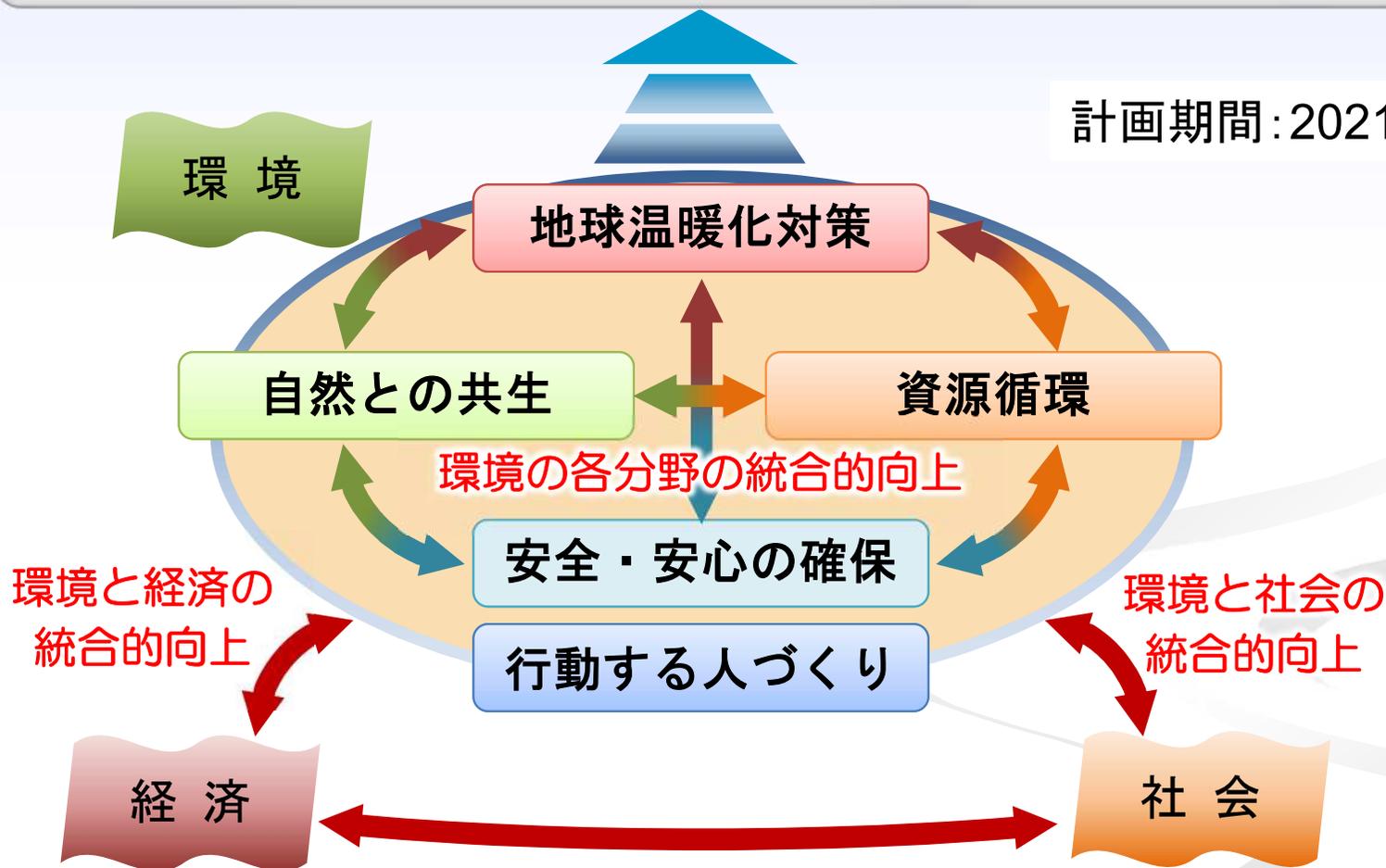
第5次愛知県環境基本計画（2021年2月策定）

SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する「環境首都あいち」

第5次愛知県環境基本計画

SDGs達成に向け、環境を原動力に経済・社会が統合的に向上する「環境首都あいち」

計画期間：2021～2030年度



- 「地球温暖化対策」、「自然との共生」、「資源循環」、「安全・安心の確保」の各分野について、新たな課題への対応も含め取り組む
- SDGsを理解・認識した「行動する人づくり」やパートナーシップによる連携・協働を推進

複数の課題を統合的に解決する施策のうち、特にSDGsの多くのゴールに貢献する9つの施策を重点施策として位置づけ推進

- ① 再生可能エネルギーの導入拡大・徹底した省エネルギーの促進と環境産業の振興
- ② 次世代自動車の普及拡大
- ③ 「あいち方式2030」推進プラットフォームの構築
- ④ 地域循環圏づくり
- ⑤ プラスチックごみゼロ
- ⑥ 食品ロス削減
- ⑦ 海域の生物多様性や水産資源の生産性を考慮した水質改善
- ⑧ SDGsの普及促進
- ⑨ 誰もが学べるあいちの環境学習による人材育成と自主的取組の促進



地球温暖化対策

- 1 徹底した省エネルギーの促進
- 2 再生可能エネルギー等の導入拡大の促進
- 3 環境と調和した自動車利用
- 4 水素の利活用拡大
- 5 フロン類対策の推進
- 6 温室効果ガスの吸収源対策の推進
- 7 気候変動への適応（適応策）

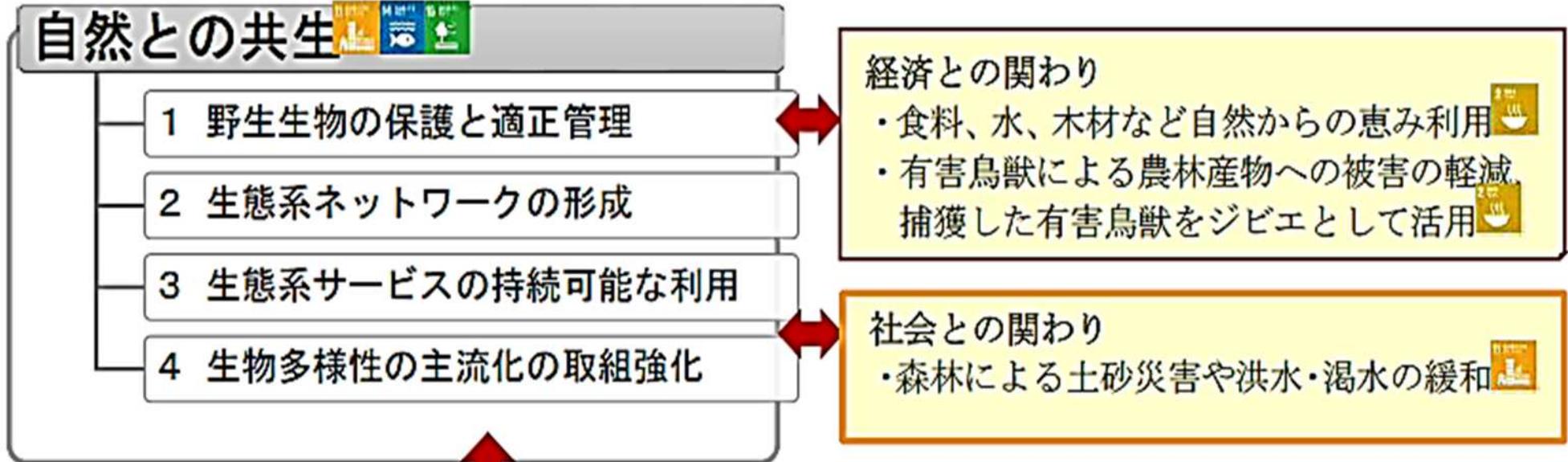
経済との関わり

- ・省エネルギーによる経費削減
- ・環境ビジネスやESG投資の拡大

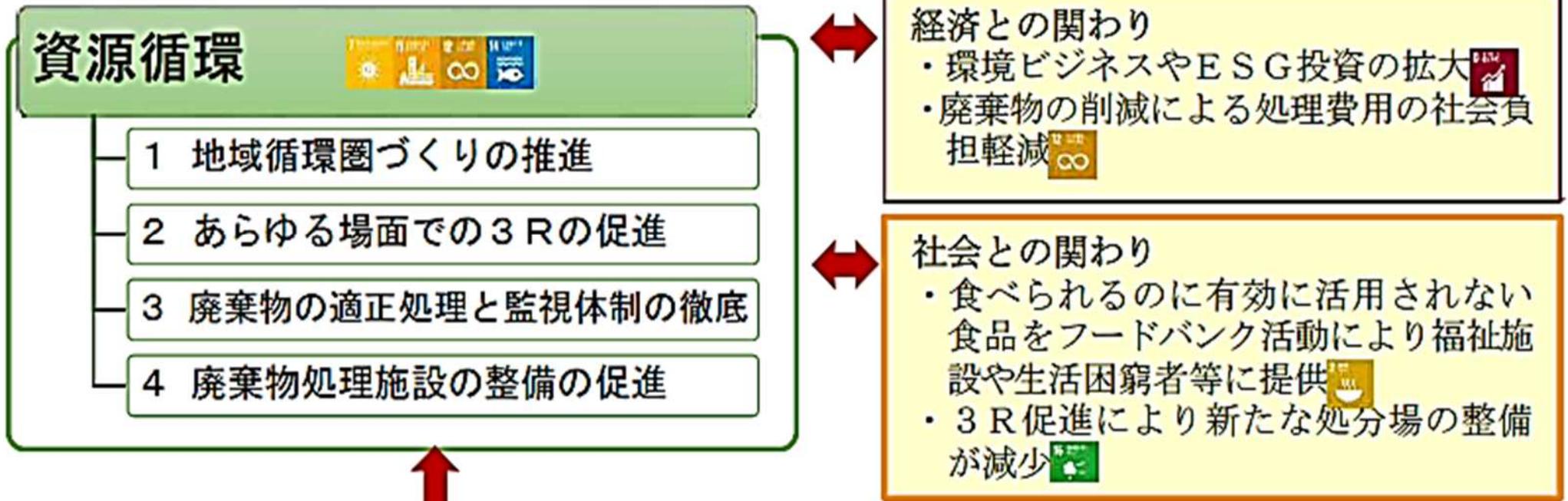
社会との関わり

- ・再生可能エネルギー・次世代自動車の活用による非常用電源の確保
- ・適応策による熱中症予防、感染症対策

取組分野	主な関わり
自然との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林保全による温室効果ガス吸収源の確保 ・バイオマス由来の発電によるエネルギー創出
資源循環 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の減量による焼却時の温室効果ガスの削減 ・廃棄物由来の発電によるエネルギー創出
安全・安心の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロン類の排出抑制によるオゾン層保護と温室効果ガスの削減 ・太陽光発電や風力発電の設置と生活環境保全の両立
行動する人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいち COOL CHOICE」県民運動の浸透・定着



取組分野	主な関わり
地球温暖化対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林保全による温室効果ガス吸収源の確保 ・緩和策と適応策による生態系の保全
資源循環 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルによる天然資源の使用量削減 ・間伐による森林資源の活用
安全・安心の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・海域の水質改善と豊かな海につながる栄養塩確保 ・化学物質による汚染のない生物の生息・生育空間の確保
行動する人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然への親しみ、自然体験 ・生態系ネットワーク協議会やユースを核とした連携促進



取組分野	主な関わり
地球温暖化対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の減量による焼却時の温室効果ガスの削減 ・廃棄物由来の発電によるエネルギー創出
自然との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルによる天然資源の使用量削減 ・プラスチックごみの適正処理による海洋生物の保護
安全・安心の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減により、処理に伴う環境負荷低減 ・廃棄物の不適正処理撲滅による環境汚染の防止
行動する人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいちプラスチックごみゼロ宣言の普及・実践 ・3010運動の普及・実践

第5次愛知県環境基本計画 数値目標

各取組分野に進捗管理指標(合計21項目)を設定

※資源循環は2026年度

取組分野	主な項目	現状(計画策定時)	目標(2030年度)
地球温暖化 対策	温室効果ガス総排出量の削減率(2013年度比)	2.7%削減	46%削減
	野生生物の絶滅回避	絶滅した動物:32種、植物:50種	県内野生絶滅種の新規発生ゼロ
自然との共生	外来種の定着防止 (※)外来アリ4種(ヒアリなど)、クビアカツヤカミキリ、カミツキガメ、ヒガタアシ	県内で初期確認段階の特定外来生物(7種※)	左記7種の定着阻止
	廃棄物の排出量 (上段:一廃、下段:産廃)	251.5万t 1,608.4万t	239万t 1,557.3万t
資源循環	家庭系ごみ排出量	517g/人・日	480g/人・日
安全・安心の 確保	環境基準の達成状況	大気O _x :0% 河川BOD:94% 海域COD:45% 等	全項目・全地点で達成
行動する人づくり	SDGsの理解度	7.7%	50%を上回る

1 愛知の50年の環境のあゆみ

2 第5次愛知県環境基本計画

3 環境局の主な取組

**地球温暖化対策、自然との共生、資源循環、
安全・安心の確保、行動する人づくり**

地球温暖化対策

～計画の策定～

1994.3 あいちエコプラン21

～全国に先駆けて県計画を策定～

2005.1 あいち地球温暖化防止戦略

2012.2 あいち地球温暖化防止戦略2020

2018.2 あいち地球温暖化防止戦略2030

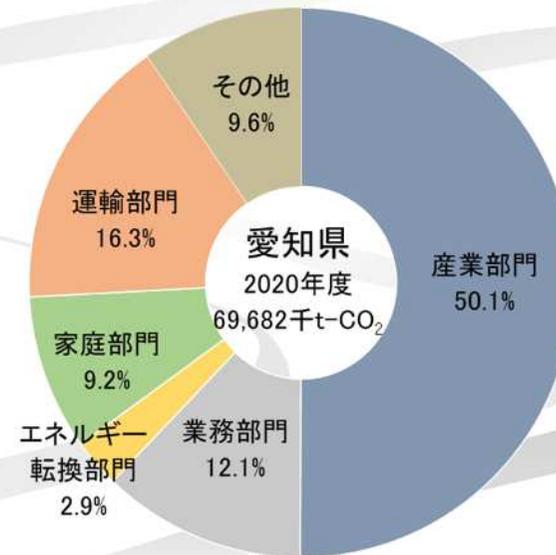
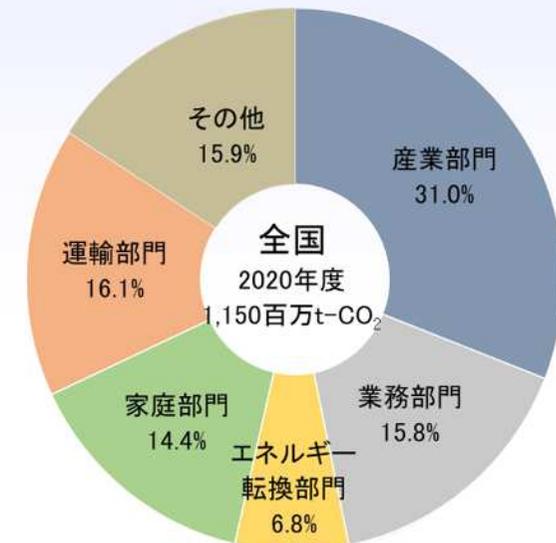
目標：温室効果ガス総排出量を
2013⇒2030年度で**26%削減**
長期目標：2050年頃に持続可能な
低炭素社会を実現する

国のカーボンニュートラル宣言や、温室効果ガス排出削減目標の引き上げ等を踏まえて**戦略2030を改定**

**2022.12 あいち地球温暖化防止戦略
2030(改定版)**

目標：温室効果ガス総排出量を
2013⇒2030年度で**46%削減**
長期目標：2050年までに**カーボン
ニュートラルの実現を目指す**

部門別温室効果ガス排出量
(2020年度推計)



全国排出量の約6%で、全国最多レベル
産業部門の割合が全国に比べて高い

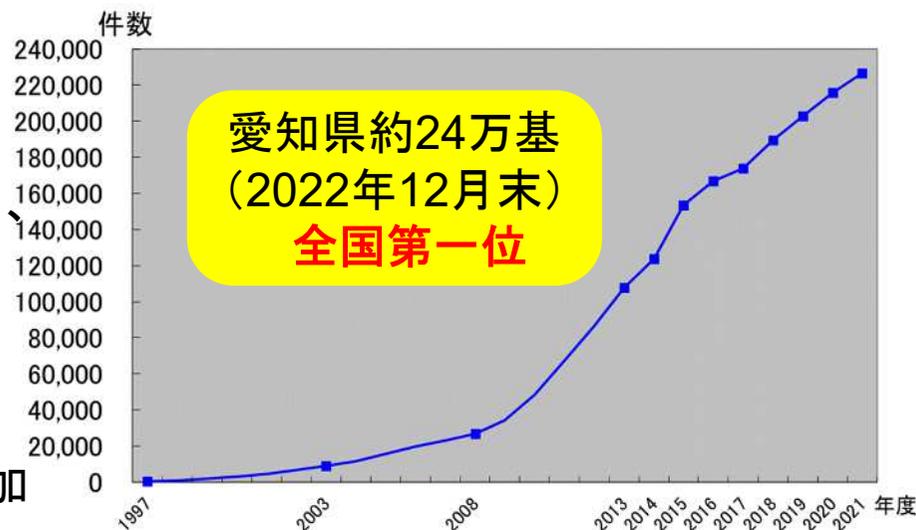
地球温暖化対策

～計画の推進～

CO₂ 排出量を削減し、地球温暖化を防止するため、省エネ活動の促進や再生可能エネルギー等の導入拡大を促進

住宅用地球温暖化対策設備導入補助

- 2003年度～ 住宅用太陽光発電施設の導入補助
- 2015年度～ 家庭用エネルギー管理システム(HEMS)、燃料電池、蓄電池などを対象に拡大
- 2016年度～ 集合住宅を追加
- 2019年度～ 補助メニューに住宅の断熱性能を高める設備を追加
- 2022年度～ 太陽熱利用システムを補助メニューに追加



あいちCOOL CHOICE 県民運動

地球温暖化対策計画書制度

あいちCO₂削減マニフェスト2030

中小事業者向けの「あいち省エネ相談」

低炭素水素サプライチェーン事業

愛知県気候変動適応センター

グリーンボンド(県債)の発行

「先進環境対応自動車導入補助金制度」

中小企業、旅客・貨物運送事業者等の事業者に対して、**EV等を購入する際の費用の一部を補助**

＜補助対象の車種及び補助額（白ナンバー乗用車の例）＞

補助対象車種	補助額
電気自動車（EV）	400千円（上限）
プラグインハイブリッド自動車（PHV）	200千円（定額）
燃料電池自動車（FCV）	600千円（定額）

自動車税種別割の課税免除

- **本県独自に**、EV・PHV・FCVに対し、**課税免除**（購入年＋5年）を実施

EV・PHV・FCV**総普及台数：33,030台（全国第1位）**（2022年3月現在）

自然との共生

～生物多様性保全の取組～

「人と自然が共生するあいち」の実現に向けて、県内における生物多様性保全の取組を推進

生態系ネットワークの形成

科学的知見に基づく多様な主体の協働により、生物の生息生育場所を確保し、つなげていく。

生物多様性主流化の加速

県民の日常生活、企業や行政等の社会経済活動に生物多様性が組み込まれ、行動につながる。

重点プロジェクト(A~J)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
基本的な取組	湿地・里山ネットワーク	希少な動植物の保全	外来生物対策の強化	地域の保全活動活性化	都市の自然の価値再発見	鳥獣の保護・管理の推進	事業者の保全活動の推進	あいちの自然体感の推進	国際連携の推進
基盤整備	J 「あいち方式2030」推進プラットフォームの構築 ・県民サポーター制度(メルマガ発行、モニタリング調査など) ・自然史情報データベース ・生物多様性保全活動団体プラットフォーム								

重点プロジェクトA~Jの【目標】

- A 湿地の保全活動
- B 県内の野生絶滅種の新規発生を「ゼロ」にする
- C 初期確認段階の特定外来生物の定着防止
- D 生態系ネットワーク協議会市町村の生物多様性施策推進
- E 「生物多様性」の普及
- F ニホンジカの生息頭数の適正管理
- G 保全活動団体と事業者のマッチング、開発事業における環境配慮工法等の反映率
- H 茶臼山及び伊良湖休暇村の利用促進
- I 国際情報の県内への報告
- J 生物多様性サポーターの拡大

自然との共生 ～あいち学生プロジェクト～

ユース(大学生等)を中心とした生物多様性保全活動

【考え方】

経済・社会の基盤である「**生物多様性**」の保全に、次代を担う「**ユース世代**」が中心となって取り組むことが、「**持続可能な社会**」の構築につながる

生物多様性 あいち学生プロジェクト

- 「愛知県SDGs未来都市計画」に基づき、2019年度よりスタート
- ユースを中心とした協働による生物多様性保全活動を推進するため、愛知県が県内9地域の生態系ネットワーク協議会とも連携の上、ユースによる保全活動をサポート

【これまでの活動事例】

①保全活動体験



(写真:ソニーの森での森林整備体験)

②企業の実験体験



(写真:トヨタの森)

③活動アイデア検討

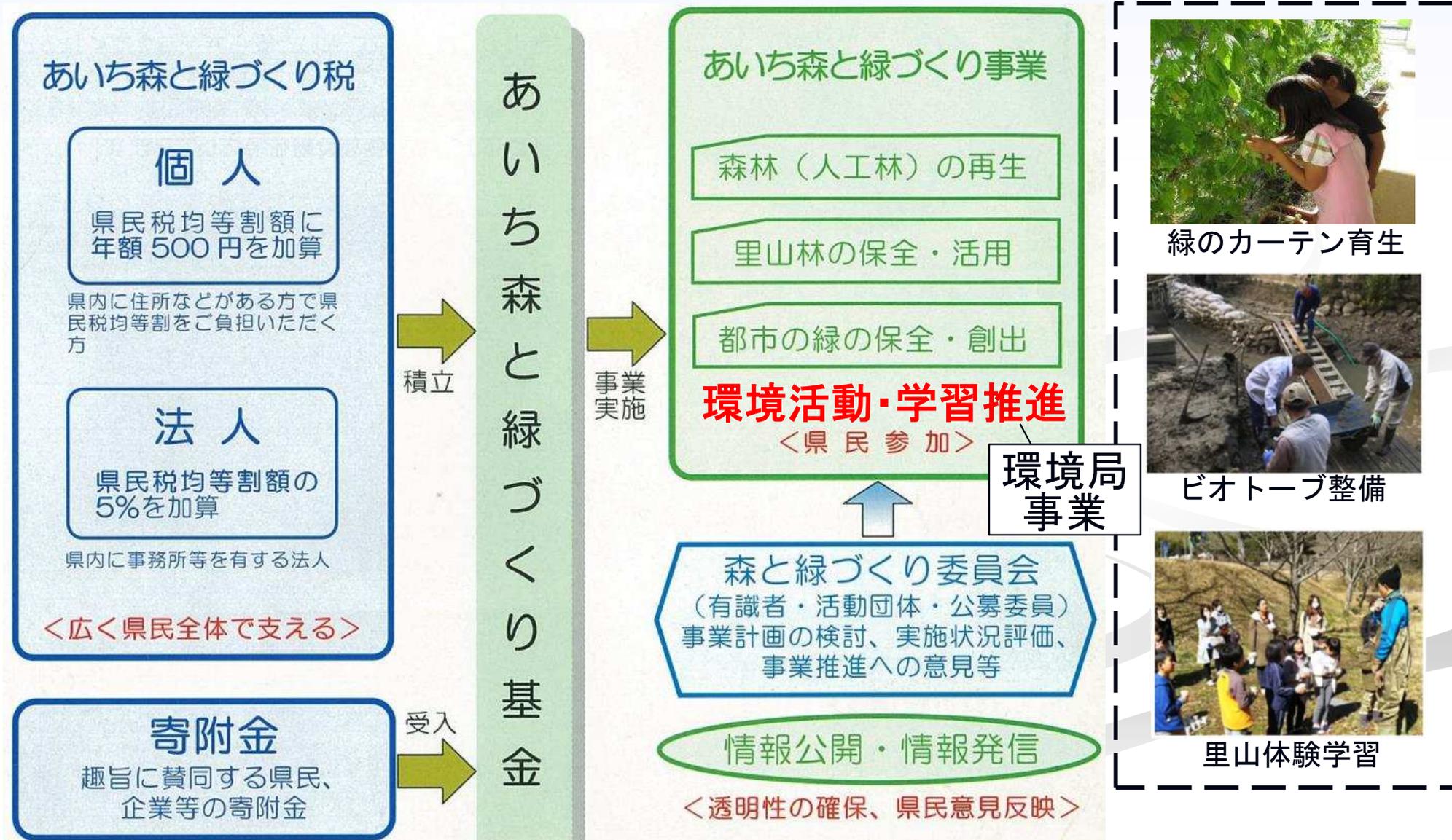


生物多様性を切り口としたSDGs達成に向け、活動継続中(※参加学生募集中)

自然との共生

～あいち森と緑づくり事業～

2009年度に「あいち森と緑づくり税」を創設し、森と緑の持つ様々な公益的機能の発揮のため、森林、里山林、都市の緑を整備保全等の取組を推進



資源循環 ～減量化・資源化・適正処理～

廃棄物の減量化や資源化を推進し、また、最終的に残った廃棄物の適正な処理を確保するため、県民、事業者、市町村、県等がそれぞれの責任と役割を認識し、相互に協力、連携して取組を推進

3Rの取組促進

- ・3Rの促進や適正処理等に関する環境学習 ・各種リサイクル法
- ・食品ロス削減 ・レアメタルを含む有用金属の再利用 ・海岸漂着物の処理

排出事業者・処理業者に対する、廃棄物の適正処理の監視・指導の徹底

- ・優良産業廃棄物処理業者の育成
- ・不適正処理の未然防止(監視パトロールなど)
- ・食品廃棄物の不正転売事件を受けた再発防止対策の実施

食品ロスの削減・ごみゼロ社会推進あいち県民大会

海岸漂着物対策の推進

愛知県災害廃棄物処理計画による災害時のごみ処理体制の構築

- ・災害廃棄物を迅速かつ適正に処理
 - ①市町村連携 ②分別・選別の徹底と再資源化促進 ③民間事業者との連携

循環ビジネスの発掘・創出、事業化から円滑な事業継続までを支援

循環ビジネスの発掘・創出

- ・循環ビジネスセミナーや、環境先進企業の見学会等の実施
- ・コーディネーターによる相談・技術指導

循環ビジネスの事業化

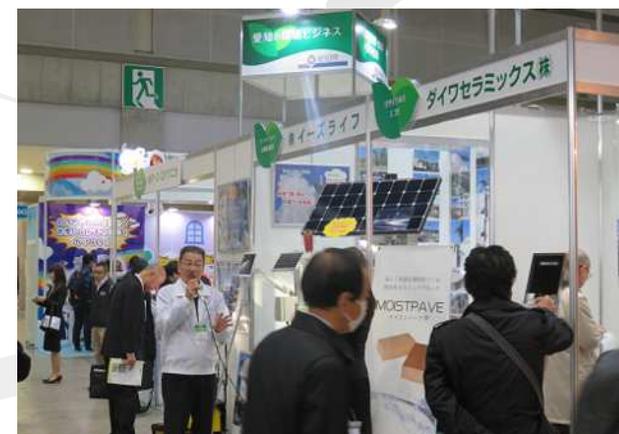
- ・先導的で効果的なリサイクル施設等の整備や循環ビジネスの事業化検討に対して補助

情報発信など事業の継続支援

- ・優れた環境技術や環境活動を「愛知環境賞」として表彰
- ・企業展示会に、愛知県が環境ビジネスコーナーを設け、中小企業のPRをサポート

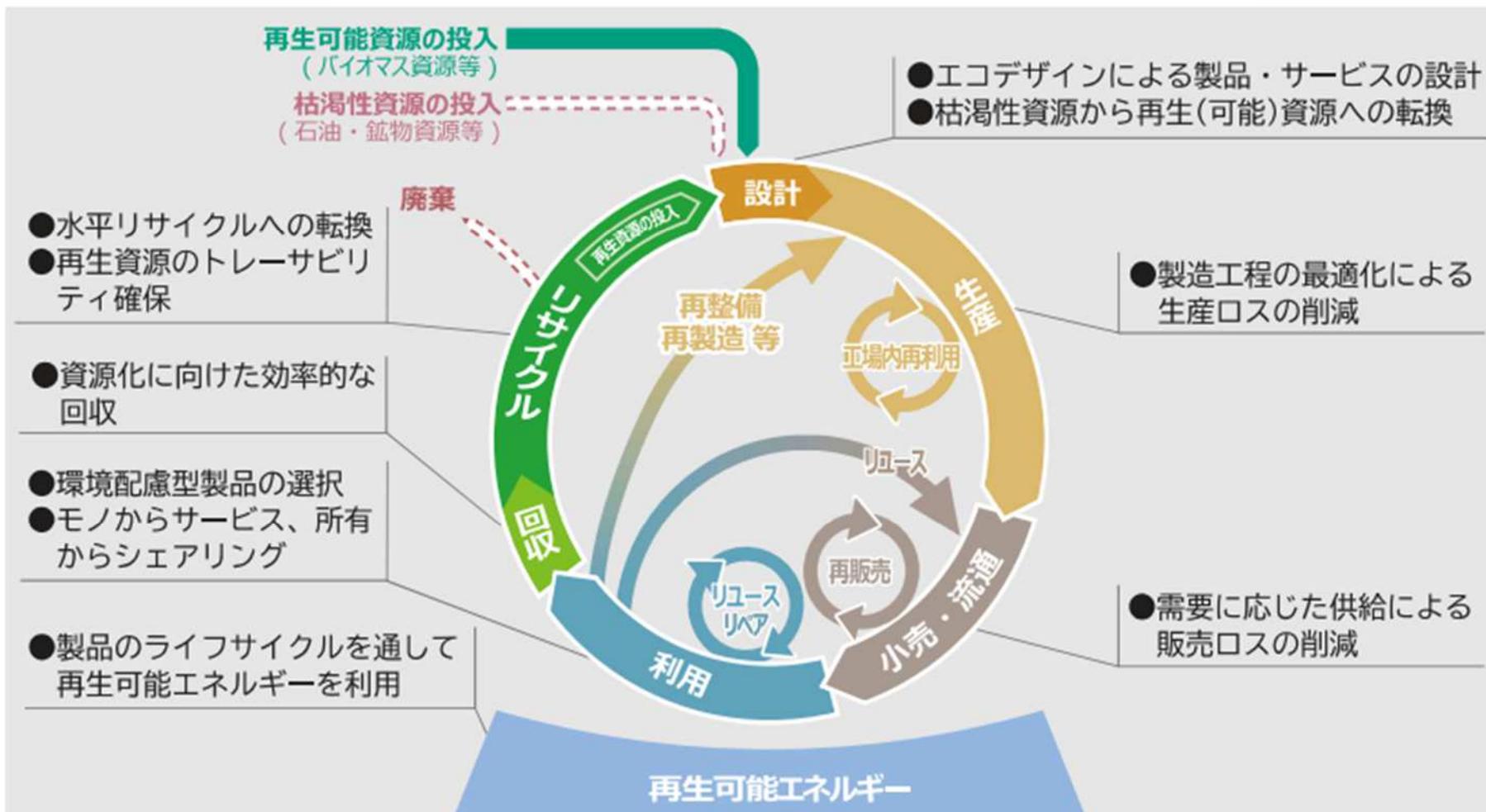
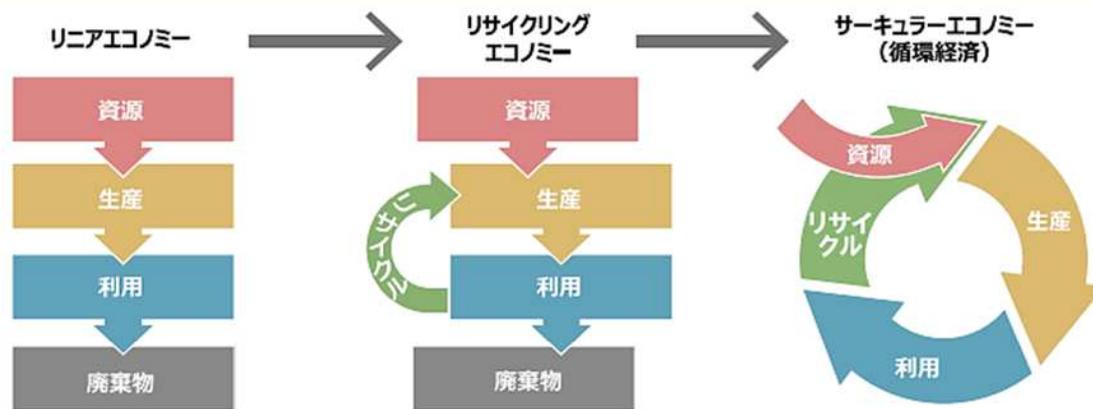


環境先進企業への見学会



中小企業の展示会出展に対する支援

資源循環 ~サーキュラーエコノミーの推進~



安全で安心して暮らせる社会の前提となる大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、地盤沈下、騒音、振動、悪臭などへの対策を着実に実施

大気環境・水環境の保全

- ・大気環境や水環境(河川、湖沼、海域)の監視・測定
- ・工場・事業場等への規制・指導
- ・アスベストの飛散防止対策



河川水質調査

土壌環境・地盤環境の保全

- ・地下水質の監視・測定
- ・土壌・地下水汚染の未然防止、汚染判明時の指導・調査
- ・地盤沈下、地下水位の監視・測定
- ・工業用水法、県条例等に基づく地下水揚水規制



愛知県環境調査センター

騒音・振動・悪臭の防止

- ・騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく市町村の規制の支援

環境汚染の基盤となる施策・その他

- ・環境影響評価制度の的確な運用
- ・PCB廃棄物の適正な保管および期限内処理の推進
- ・災害発生時における体制の強化
- ・中小企業者等が進める公害対策への融資・利子補給



災害廃棄物図上演習

安全・安心の確保

～三河湾環境再生～

県民の里海である三河湾の環境を再生し次世代へ贈るため、多様な主体による「三河湾環境再生プロジェクトーよみがえれ！生きものの里“三河湾”ー」を実施



三河湾に関心を持ってもらうため、

- ・三河湾を知ってもらう
- ・三河湾に触れてもらう
- ・三河湾の魅力を高める



三河湾の環境再生に向けて、事業を展開

- ・三河湾について知る、学ぶ機会の提供
- ・里海再生に向けた調査活動
- ・NPO等の活動支援

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ

- ・三河湾に関わるNPO、企業、業界団体、教育機関、行政等が連携・協働して、プロジェクトを推進
- ・2019年にシンボルマークとサポーターズカード作成

参加型イベント「三河湾大感謝祭」

- ・海の生きものに触れ合う展示、海の幸の試食等

三河湾環境学習会

- ・県立三谷水産高校の実習船「愛知丸」を活用し、水質・底質の調査など体験型学習会を実施

三河湾環境再生体験会

- ・干潟の生きものや水質浄化機能等の観察に加え、干潟の保全活動体験を盛り込んだ体験会を開催



シンボルマーク



サポーターズカード

行動する人づくり

未就学児童から中高年・シニアまで、世代に応じた持続可能な社会の担い手を育成する「人づくり」を推進

<もりの学舎ようちえん>

自然を体感するプログラムの実施

<指導者養成>

未就学児童向けプログラムのノウハウを習得



未就学児童

<あいち環境学習プラザ>

社会見学に対応した環境学習

<もりの学舎キッズクラブ>

自然体験型の環境学習

<あいちの未来クリエイト部>

地域の環境を調査・研究し、教材を作成

小・中学生
高校生



<かがやけ☆

あいちサスティナ研究所>

企業から提示された環境課題に対し、大学生が企業とディスカッションし、解決策を提案



企業現場での研究活動

大学生

<あいち環境塾>

講師からの講義や意見交換を行い、環境に関する政策や事業モデルを提言

<あいちecoティーチャー>

講師として養成した中高年・シニア世代を活用し、環境学習を実施

社会人
中高年・シニア





かがやけ★ あいちサステイナ研究所



プログラム概要



パートナー企業（2015年～2023年度で41企業が参画）

2023年度 (株)アルペン、(株)ウッドフレンズ、(株)加藤建設、(株)サンゲツ、
敷島製パン(株)、西尾信用金庫、(株)バローホールディングス、(株)マキタ

2022年度まで (株)コメダ、(株)サーラコーポレーション、中京テレビ放送(株)、
中部テレコミュニケーション、日本ガイシ(株)、(株)吉本興業(株)



START

オリエンテーション・開所式



企業環境活動研究 4日間

企業の担当者とdiscussion
学生目線で課題検討



成果発表準備
解決策をBrush UP!



成果発表会 (2023.12.10 名城大学)

※写真は昨年度の成果発表会の様子





かがやけ★
あいちサステイナ研究所

成果発表会2023

参加無料

主催:愛知県 共催:愛知学長懇話会(SDGs企画委員会) 協力:名城大学

2023 12/10 日 開場 12:30 開会 13:00

会場 名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス DSホール

プログラム

研究成果発表会 13:00~15:30 修了式&表彰式 16:00~16:30



2023年度
パートナー企業・団体
(五十音順)



AlpenGroup
スポーツをもっと身近に



WOOD FRIENDS



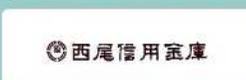
株式会社 加藤建設
KATO CONSTRUCTION CO.,LTD.



sangetsu



Pasco



西尾信用金庫



valor Holdings



Makita




当発表会は、第15回愛知学長懇話会SDGs
リレーションポジウムに位置づけて開催します。

成果発表会2023

「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」は、未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。パートナー企業・団体8社から提示された環境面での取組に関する課題に対し、研究員である大学生が8チームに分かれて、現場での調査や企業・団体担当者とのディスカッションを実施してまとめ上げた解決策を発表します。

研究成果発表会 [13:00~15:30]

8チームが研究成果をプレゼンテーション




修了式 & 表彰式 [16:00~16:30]

修了証授与・最優秀賞等の発表

「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の詳細はこちらをご覧ください
<https://www.get.aichi.jp/sochi/kakyosustaina.html>



観覧者募集について

申込期限 **12月6日(水)**
(必着)

定員 **100名**
(要事前申込み・先着順)

参加費 **無料**

申込方法 **申込フォームより申込みください。**
https://www.shinseki-aichi.jp/inf-aichi-u/offer/offer_detail.action?tempseq=85274

申込フォームによる申込みが困難な場合は、氏名(ふりがな)、電話番号及びメールアドレスを記入の上、電子メールにより下記事務局まで申込みください。

※複数まとめて申込みする場合は、代表者の氏名及び担当企業名の氏名を記入してください。
※申込者多数により閲覧いただけない場合があります。

ご来場の皆様には8チームの発表の中から1チームに投票していただきます!



かがやけ★
あいちサステイナ研究所

かがやけ☆あいちサステイナ研究所事務局
(株式会社新東通信内) 10:00~17:00
TEL 052-962-5223
お問合せ E-mail kankyo@shintou-tsushin.co.jp

名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス DSホール
〒461-8534 名古屋市長区矢田南4-102-9

会場

アクセス

- JR中央本線・名鉄瀬戸線「大曾根」駅から徒歩約10分
- 地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅2番出口から徒歩約3分
- ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅から徒歩約5分

※バス乗降は公共交通機関をご利用ください。



行動する人づくり ～環境配慮の促進～



あいちエコアクション・ポイント

5つのエコアクションで、ポイントを集めよう!!

参加
無料

1 グリーン購入

10P 50P

省エネ家電

家電 衣類 食品 家庭用品
文房具



3 使用済みクリーニング ハンガーの返却

10P



4 飲食店での 食べ残しゼロ

10P



2 プラスチック製 カトラリー類の辞退

10P



5 フードバンク等への 寄付

10P



参加
方法



専用サイトで
アカウントを作成



ごちそうさま

エコアクションを実施
(例：飲食店での食べ残しゼロ)



ポイント
GET!

QRコードをスマホで
読み取りポイントゲット



賞品の抽選に応募

県民の方の脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や行動変容を促すため、5つの「エコアクション」に対して、「あいちエコアクション・ポイント」を本年2月から発行

行動する人づくり ～ SDGsの普及促進～

～日本最大級のSDGs推進フェア～

SDGs AICHI EXPO 2023

日程：2023年10月5日（木）～7日（土）

場所：Aichi Sky Expo【愛知県国際展示場】

テーマ：多彩な力で実現するサステナブルな未来

<https://sdgs-aichi.com/>

SDGsをみんなの手で



目的

- 多様な主体のネットワーク化の促進
- SDGsの普及・浸透

内容	企業、学校、NPO等によるブース出展
	多様なステージイベント
	子供も大人も楽しめるワークショップ
構成団体	愛知県
	一般社団法人中部SDGs推進センター
	環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)
	日本青年会議所愛知ブロック協議会
	NPO法人愛知環境カウンセラー協会
	国際連合地域開発センター (UNCRD)
国際協力機構 (JICA) 中部センター 等	



行動する人づくり ~SDGs AICHI EXPO 2023~



ブース出展

企業、NPO、大学・高校など125団体がSDGsの取組を紹介



ステージイベント

SDGsに関するセミナー・講演、SDGsお笑いステージ、等を実施



愛知県ブース

木で作られた街をイメージしたブースで県の取組を体感

- ① 全ての県民がいつまでも暮らしていきたいと思える、日本一環境にやさしいあいち
- ② 環境と経済成長が好循環しているあいち
- ③ 多様な主体が連携して環境保全活動に取り組み、地域が活性化している魅力あるあいち

を目指して、環境施策に取り組んでいます